

梅プロジェクト 大宰府政庁跡の梅花酵母を使った明太フランスが完成！

本市の『令和発祥の都太宰府「梅」プロジェクト』に賛同し、大宰府政庁跡で採取した梅の花の天然酵母を使用した明太フランスを、(株)山口油屋福太郎が(株)ベーカリーイノベーション研究所と共同開発し、10月7日に本市を含む3者で商品の発表会を行いました。

史跡地の梅は、従来国の規制で商業利用が制限されていましたが、市として国へ強く働きかけ、資源として活用できるようになったものです。

発表会で(株)山口油屋福太郎の田中洋之代表取締役社長(写真左)は「梅の花酵母による味の変化や膨らませることの難しさがあつたがうまみがしっかりとでている」と商品開発にかけた努力を話され、(株)ベーカリーイノベーション研究所の田中康之代表取締役社長(写真右)は「酵母はここ大宰府政庁跡の空気中に含まれている。市民の方に愛され、訪れる方からも選ばれる商品になってほしい」と話されました。

本市としては、1300年前の天平の世、元号令和の由来となった梅花の宴で大伴旅人も愛でたであろう「梅」をさらにブランディングし、グルメやスイーツに仕立て上げ、税収や経済効果を飛躍的に向上させる史跡地の先進的活用をさらに推進していきます。

また、こうした取り組みのなかで「体験型コト消費クラウドファンディング」として、10万円の寄付で梅園の命名権、梅の収穫体験と1万円分の梅プロダクト権を手に入れることができます。この取り組みに、ぜひご賛同ください。



明太フランスを手にする
左から田中洋之社長と楠田市長、
田中康之社長



大宰府政庁跡梅花の酵母を使用した
明太フランス

新たな誘客策 令和発祥の都PRキャラクターのカラーマンホールを設置

本市のマンホールのふたは梅のマークが施されたものが通常のデザインでしたが、いま全国の新たな誘客策として話題となっている特別デザインのカラーマンホールを市内3カ所に新たに設置しました。

くらしを支える下水道の大切さについて理解を深めてもらい、また本市の魅力をPRすることを目的として、客館跡、とびうめアリーナ付近、宝満山に設置しています。デザインには、令和発祥の都PRキャラクターを取り入れ、かわいらしくできあがりました。デザインの題材となっている風景の近くに設置しましたので、ぜひ探してみてください。



特別デザインのカラーマンホール全3種類

民間との連携 宰府福祉会との「災害時における福祉避難所に関する協定」締結式

9月22日に社会福祉法人宰府福祉会と「災害時における福祉避難所に関する協定」を締結しました。

福祉避難所とは、災害時、一般の避難所への避難が困難な高齢者、障がい者など、配慮を要する方に安心して避難できるための設備が整った避難所のことです。

このたび、宰府福祉会様にご協力いただき、これまでの4カ所の福祉避難所に、「宰府園」「すみれ園」を新たに追加、活用させていただくこととなりました。

締結式で楠田市長は「災害発生時に、自力で避難することが困難な方への支援が課題の一つとなっていました。設備の整った福祉避難所の確保は、市民の安心・安全に大きく寄与するものであり、心から感謝申し上げます」と挨拶しました。



左から宰府福祉会草本武俊理事長、楠田市長



全国史跡整備市町村協議会大会の様子



国分小学校「子ども史跡解説員」
による筑前国分寺跡解説



大宰府政庁跡での事前収録風景

私のだざいふ

太宰府市教育委員会教育長

樋田 京子



先月号の清水副市長からのバトンタッチで、引き続き太宰府市の文化遺産の話題です。私は大宰府政庁跡から眺める四王寺山が大好きです。晴れた日に視界に広がるくっきりとした稜線、雨上がりの霧立ちわたる神秘的な情景、夏には樹木の緑が、秋には紅葉が色合いを競います。この風景を1300有余年前の先人達が梅の花を愛で、歌を詠みながら眺めていたと思うと不思議な感覚を覚えます。

太宰府市は今年、大宰府跡・水城跡史跡指定100年の節目の年を迎えました。現在、文化財のマスタープランともいえる「太宰府市文化財保存活用地域計画」(地域計画)を作成中です。

これからの100年への展望を描き、世界に冠たる令和発祥の都にふさわしい文化遺産の保存・活用を推進してまいります。

市政ニュース

史跡地の保存・活用

第56回全国史跡整備市町村協議会太宰府大会開催！

10月6日、史跡、名勝、天然記念物などが所在する全国619市町村が加盟する、全国史跡整備市町村協議会(会長：豊岡武士三島市長)第56回太宰府大会を開催しました。



半世紀ぶりとなる福岡県内の開催ですが、直前までコロナ禍による緊急事態宣言が続いたため、断腸の思いで通常開催を断念し、大会初のオンライン開催といたしました。

全国副会長を務める楠田市長が、大会実行委員会委員長、そして議長をつとめたこの大会は、史上最多の271団体、423人が参加する記憶にも記録にも残る大会となりました。

楠田市長からは、規制緩和を勝ち取り史跡地の梅を活用する梅プロジェクト、日本遺産の広域化による近隣連携、史跡指定100年イベントなど史跡活用の先進事例を紹介しました。

また、太宰府の歴史や研究について、令和元号の考案者とされる中西進先生、考古学者の小田富士雄先生に、それぞれ録画にてご講演をいただきました。

そして、大宰府史跡解説員、国分小学校の「子ども史跡解説員」の皆さんが、現地で史跡を紹介する映像や実行委員自治体の名所旧跡の映像を作成し、参加者に視聴いただきました。

全国から本市へお越しいただけなかったことははなはだ残念でしたが、令和のご縁をいただき、大宰府跡・水城跡の史跡指定100年の節目の行事を締め括る絶好の機会となりました。

Contents

目次

2021年11月1日号

特集

私のだざいふ、市政ニュース、トピックス
..... 2~5

【決算 特集】

・令和2年度実施した主な事業... 6~7

・令和2年度決算の報告 8~12

・ふるさと納税 13

・国保と健康 14~15

・介護保険と支え合い 16~17

・歴史と文化の環境税 18

まちづくり市民意識調査の結果 ... 19

ご当地ナンバープレートの交付が始まります 20

11月12日~25日は女性に対する暴力をなくす運動週間です 21

新型コロナウイルスワクチンの接種について 22

市からのお知らせ 23~29

連載 30~37

なんでも情報コーナー 38~47

太宰府の文化財 48

記事ページをホームページで検索！

情報をさがす

ページID検索

表示

広報だざいふの記事にある7ケタのページIDを太宰府市ホームページトップの検索画面に入力すると、同じコンテンツの記事ページをさがすことができます。

まちのトピックス

市民栄誉賞の創設

みちした みさと
道下美里選手へ史上初の太宰府市民栄誉賞が贈られました！

9月27日、東京2020パラリンピック競技大会女子マラソン（視覚障害T12）で見事金メダルを獲得された道下美里選手へ、史上初となる太宰府市民栄誉賞が贈られました。

この賞は、コロナ禍のなか市民に明るい希望と活力をあたえる素晴らしい功績をあげられた道下美里選手の栄誉を称え、市民の皆さんと共に喜びを分かち合うため、この度、新たに創設されたものです。

表彰式で道下選手は、「多くの市民の方の応援や励ましがあって金メダルという成績を残すことができた。今後はスポーツで活力を与える選手になり障がいがある人も障がいがない人も分け隔てなく共に輝ける地域づくりへ貢献したい」と述べられました。

多くの感動と勇気を与えてくださりありがとうございました。道下選手の今後ますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。



市民栄誉賞の表彰を受ける道下選手



取材に答える道下選手と楠田市長

長寿のお祝い

敬老の日に100歳の方のもとを訪問

9月20日の敬老の日に、本市では、対象となる高齢者に対して、敬老の意を表し、長寿を祝福することを目的として、88歳・99歳の皆さんに祝品、100歳の皆さんに祝金を贈呈しました。

本年度は、88歳が328人、99歳が30人、100歳が21人、最高齢は107歳でした（6月30日現在）。

代表して100歳を迎えられる秋山晴見さんのもとを楠田市長が訪問し、直接お祝い状をお渡ししました。長年にわたり社会で活躍され、ここに百寿を迎えられることに敬意を表しお祝いの言葉をお伝えしました。



秋山さんにお祝い状をお渡する楠田市長

市民の貢献

マスク2万枚の寄附に感謝状お渡し

9月19日、市へマスク2万枚の寄附をいただいた稲生香代さんへ、市から感謝状をお渡ししました。

稲生さんは、以前、複数の新型コロナウィルスワクチン接種会場に従事した経験があり、本市の対応が素晴らしいと感じ、この縁を大切にしたい気持ちから、今回の寄附をいただくことになりました。

また、こうした背景に、ご自身のお子さんとコロナ禍やワクチン接種について話し合ううちに、お子さん自ら、受け取った特別給付金を活用して頑張っている自治体に寄附しようと発案があったということです。

コロナ禍が続き、世の中に閉塞感が漂うなか、大きな勇気と励みを与えていただきました。



感謝状を贈られた稲生さんと楠田市長

国際交流

駐福岡大韓民国総領事館による「九州の中の韓国探し～太宰府～」が開催されました。

9月29日に駐福岡大韓民国総領事館主催の韓国とゆかりの地を訪れる歴史探訪ツアーが開催されました。通常であれば、一般の人参加して、日韓民間交流の場となるのですが、今回はコロナ禍のため総領事館職員および関係者の皆さんが太宰府を訪れ、大宰府政庁跡や水城跡などを巡りました。

当日の様子は総領事館のSNSに掲載され、韓国の多くの人に向け太宰府の魅力を発信していただきました。

また、本市と忠清南道扶餘郡（大韓民国）とは姉妹都市の関係にあり、令和4年には姉妹都市承継締結10周年という節目の年を迎えます。



総領事館の皆さんと楠田市長



水城跡視察の様子

STEAM先進教育の実現

子ども大学だざいふ・ふくおか開校！

開校式

子どもたちが大学で授業を受けることができる、「子ども大学だざいふ・ふくおか」（吉澤みか理事長）が筑紫女学園大学で開校しました。

九州初となる子ども大学は、子どもたちの好奇心や問題意識を刺激し、子ども自身が学ぶことに積極的になるよう、大学教授や専門家が、さまざまな具体的事例や体験を交えながら授業を展開するもので、楠田大蔵市長も名誉学長を務めています。

開校式典では、久保千春学長（九州大学前総長・中村学園大学学長）から「小学生は『どうして？』という疑問を持つようになります。たくさん質問してください」と挨拶がありました。

開校式を終えると早速授業が開始され、リモート参加を含めた約30人の小中学生が熱心に話を聞いていました。子ども大学は今後、年に3回程度の開催を予定しています。



開校式で挨拶する楠田名誉学長



講義を受ける子どもたち

西鉄太宰府駅にストリートピアノが設置されました！

子ども大学だざいふ・ふくおかが、学校法人九州学園、西日本鉄道株式会社、ストリートピアノドネーションズおよび太宰府市と連携し、西鉄太宰府駅コンコースにストリートピアノを設置しました。

かねてより駅ピアノ設置を切望してきた吉澤理事長が楠田市長へ要望し、市長からピアノを所有する学校法人九州学園安河内事務局長や駅を管轄する西鉄へと相談するなかで、今回の設置に至りました。

9月11日に開かれた設置記念セレモニーで、吉澤理事長は「街や観光客の憩いの場、心を和ませる癒しの場となって欲しい」と挨拶しました。

その後、福岡市を拠点に活躍中のピアニスト、山本朝子さんによる記念演奏が披露されると、駅を行き交う人たちが、その美しいピアノの音色に聴き入っていました。

西鉄沿線で初の設置となったストリートピアノ。今後は午前10時～午後6時まで、だれでも自由に演奏することができます。コロナ禍が早く落ち着き、ピアノが流れる駅の賑わいととも、地域が再び元気になることを願っています。



「地域の活性化につながることを期待します」と挨拶する楠田市長



記念演奏の様子

人権尊重のまちづくりの推進

市民フォーラム講師との対談

太宰府市男女共同参画市民フォーラムを11月15日(月)までオンラインで動画配信していますが、これに先立ち、講師の柳原志保さんと楠田市長との対談をリモート形式で収録しました。

対談は、本市の防災の取り組みや市内のお勤めウォーキングスポットなどについて、柳原さんからの質問に楠田市長が答えるものが中心です。この対談は、市民フォーラムの第1部でご覧いただけます。また、第2部の講演では、家族で備える防災や避難所生活で役立つ情報などを、講師が自身の経験を踏まえてわかりやすく紹介しています。

本年度の市民フォーラムは、時間を問わず自宅でも視聴できますが、事前に申し込みが必要です。詳しくは広報だざいふ10月号14ページをご確認ください。



講師の柳原さんとオンラインで対談する楠田市長